

シルバーバーチ

「悲しみは魂に悟りを開かせる体験の中でもとくに深甚なる意味をもつものです。
それが魂の琴線にふれた時、いちばんよく魂の目を覚まさせるものです」

- ・理不尽や不合理は、自分の意図を超え、運命の側からやってくる。
- ・理不尽や不合理は、理性＝合理＝大脳を破壊する。その先に「良知」がある。

参考) 王陽明「到良知」: 私たちは事物の理についての認識や正しい知識をすでに持っている。
心の鍛錬、私利私欲の捨離によって良知に到る。

- ・禅問答は、人間を徹底的な不合理にさらす。
大脳による賢しら(自我や合理の世界)を破壊する。

例) 片手で拍手をするとどんな音がするのか？

例) 悟る前、山は山だった。悟った後も、山は山だった。

- ・「苦難や悲哀が人間を磨く」というのは、永遠の真実である。
- ・もし苦難が悲哀がない「幸せな人生」だとしたら、魂としては「失敗の人生」である。
- ・本来の面目である(魂の成長・成熟・進化／深化)を求める人間には、
必ず苦難や悲哀が理不尽な仕方与えられるだろう。
それが「本当に運が良い」ということ。
- ・「楽行」という表現は、受け取り方が浅いと大きな誤解を招く。
- ・「貧」は、捨てて捨てて捨て切った後に生まれる「光」である(井上有一)
- ・「引き寄せ」とは完全に真逆の世界
- ・自分の名前を売るために、有力な画廊がバックにしている弟子を利用した師匠